



万燈通信

太田市立休泊中学校
学校通信 第11号
令和3年11月18日

『あいさつ、清掃、ボランティア』

盛りだくさんの行事 充実の2学期中盤

新型コロナウイルスの影響から、9月まで学校生活全体はどちらかというと淡々と、大きな山場もなく過ぎてきました。しかし、10月に入り延期されていた行事も加わり、かなり密度の濃い2学期中盤となりました。生徒も教員も忙しい中でしたが、充実した行事となるよう全力で取り組み、たくさんの笑顔と満足感、成長を得ることができたと感じています。

学校の役割はたくさんありますが、学校行事の役割、意義は大きいと考えています。日常生活では得られない体験をすることで視野を広げたり、自分や友達への新たな気づきを得たりできます。クラスや班などの目標を設定し、達成に向けて友達と協力しながら精一杯努力することは、今後の生活にも大いに役立ちます。努力を重ね、ありったけの思いを込めて臨んだ行事であればあるほど、やり終えた後の感動や悔しさ、達成感は、格別です。同時に、行事というのは他者とのかわりを持ちなければ達成できないため、ぶつかり合っつらい思いをしたり一生懸命になり切れない自分に苦しんだりした生徒もいると思います。そんな中で自分や他人を責めるのではなく、自分なりのかかわり方を学ぶことは、心の成長にもつながり、これもまた行事の大きな意義なのだと思います。

いずれにしても、生徒たちはよく頑張り、楽しんでくれたと思います。生徒たちを支え励ましてくださった保護者の皆様に感謝申し上げます。引き続きご支援をよろしくお願いします。

合唱コンクール 10/26 「Just trust ourselves その歌声に夢を乗せて」



体育祭からわずか11日後という厳しい日程でしたが、生徒たちはそれぞれのクラスの歌声を見事に作りあげてくれました。コロナ対策のために学年別開催となりましたが、多くの保護者の皆様にも参観いただき、感謝申し上げます。

今年度はマスク着用で練習時間や人数も制限した中での練習でした。よい合唱が作れないのではないかと不安の声も聞かれましたが、どのクラスも音楽の授業での指導を頭に置き、生徒と担任の心を合わせてすばらしい歌声を作りあげていました。特に、3年生は中学校生活最後という思いが直前の練習からも強く伝わり、本番の合唱も心に響くものがありました。熱のこもった練習の歌声を聞いていた2年生が思いを引き継ぎ、来年度はさらに成長した姿を見せてくれると期待しています。コンクールなので順位がついてしましますが、どのクラスもすばらしく、聴く人に与えた感動は皆同じだったと感じています。

	1年生	2年生	3年生
最優秀賞	D組	C組	B組
優秀賞	A組	B組	D組
敢闘賞	B組・C組	A組	A組・C組
指揮者賞	近藤 結友	久保田 陽葵	高橋 奏来
伴奏賞	関田 凜子	中里 真緒	長谷川 結衣



1年生 福祉サポート事業 10/29

本校では毎年、1年生を対象に上記事業を活用して福祉や人権に関する学習を行っています。講師には、車椅子バスケット元日本代表の塚本京子先生をお招きしました。



前半の講演では塚本先生の体験を中心にお話を聞き、2つの銅メダルも触らせていただきました。後半は生徒全員が車椅子バスケットの体験を行いました。まずは車椅子に乗ってシュートする体験、その後希望者を募ってミニゲームを行いました。思うようにプレーできない難しさを知り、福祉の重要性を感じ取っていました。以下、生徒の感想です。



・前向きに生きている塚本先生はとてまかっこいいなと思いました。

- ・才能があるからではなく、努力が大切なのだ改めて感じました。
- ・車イスの生活は、トイレや高い場所の物を取ろうとするときなど大変だと知って、誰でも使える公共の場が必要なんだと思いました。
- ・これからも相手のことを思いやって行動できるようにしたいなと思いました。

2、3年生 保育実習(若葉幼稚園) 3年10/29 2年11/11

例年、家庭科の授業の一環として2年生が行っている保育実習に、今年度は2、3年生が行ってきました。

最初に行った3年生は、広いグラウンドで年長児と一緒にミニ運動会に参加させてもらいました。昨年度実施できなかった3年生にも機会を与えていただき、生徒たちも童心に返ったかのように楽しんでいました。多忙な10月を乗り切ったご褒美のようでした。

2年生は班に分かれ、様々なクラスの園児と一緒に遊びのお手伝いをしました。用意してきた折り紙のプレゼントを渡し、最後は年長児とレクを楽しみました。優しい表情で語りかける生徒たちの姿が印象的でした。



3年生 校外学習(日帰り修学旅行) 11/1

年度当初、6月上旬に予定されていた修学旅行でしたが、紆余曲折を経て、ようやくこの日に実施することができました。日程は、ブドウ狩り～富士急ハイランド。方面も日数も大幅に変更となった分、とにかく楽しい思い出を作ってもらいたいという3年職員の思いから、このようなプランとなりました。



ブドウ狩りは山梨県の御坂農園グレープハウスで行いました。重たい雲が空を覆い寒い中でブドウ狩りでしたが、甘いブドウを食べきれただけ頬張っていました。

富士急ハイランドは他の修学旅行生も大勢訪れ、結構な賑わいでした。パーク内はあちらこちらから絶叫と歓声が響いていました。絶叫系の乗り物に何度もチャレンジするグループもあれば、苦手で見学している生徒もいたり、様々な楽しみ方があったようです。友達と一緒に乗り物に乗り、歓声を上げ、お昼を食べ、買い物をして、写真を撮る。よい思い出が作れたならうれしいです。

早朝と遅い時間にもかかわらず、見送りと出迎えをしてくれた職員も大勢いました。本校職員の温かい気持ちも、紹介しておきます。